

第5回糸魚川市教育委員会臨時会会議録

(平成29年3月6日)

- 1 日時 平成29年3月6日(月) 午後2時00分から
- 2 会場 糸魚川市役所 教育長室
- 3 出席委員 教育長 田原 秀夫
教育長職務代理者 佐藤 英尊
委員 永野 雅美
委員 楠田 昌樹
委員 蘆本 修一
- 4 委員以外の出席者
教育次長兼こども課長 佐々木繁雄
こども課 課長補佐 磯野 豊 係長 林 壮一
こども教育課 課長 山本 修
生涯学習課 課長 渡辺 孝志
文化振興課 課長 磯野 茂
書記 こども課主査 仲谷 貴子
- 5 付議案件
議案第 12号 教職員の人事異動について
- 6 会議録署名委員の指名 4番 蘆本委員
- 7 欠席委員 なし
- 8 傍聴者 なし
- 9 開会 午後2時00分

田原教育長　　これより第5回教育委員会臨時会を開催する。付議案件については教職員の人事異動で定例のものである。人事異動についてであるので非公開としたいがよろしいか。

委員　　（「はい」の声あり。）

田原教育長　　異議なしと認め、非公開とする。

田原教育長　　これより非公開とする。

議案第12号　　原案のとおり承認

10 その他

田原教育長　　今日は、中学校の卒業式があり、委員の方々に出席いただいた。ご感想、報告すべきことがあればお願いしたい。

佐藤教育長職務代理者　　私は青海中学校に行ったが、昔あった風景が戻ってきた。生徒たちが感極まり、表情を見ているとそういった生徒が増えてきた。これは大事なことだ。なぜ感極まりたくなるのかは、人それぞれだが、少なくともいま卒業を迎えたことについてこみあげてくるものがあることはすごく人間的だ。そういう生徒が多くなる卒業式は、昔に戻るのではなく、本来の姿がそこに出てきたのではないか。

この前糸魚川高校卒業式に行ったが、送辞、答辞という昔ながらの形を取っている。今回青海中学校も送辞、答辞だった。生徒のあいさつはすごい。特に卒業生の答辞は良く知っている人の子どもだったが、堂々として内容もよく、話し方も素晴らしかった。頼もしい感じがした。全体に統一が取れ、リーダーがしっかりしているのかと思った。今回、告示の中身がよく、私は全文朗読させてもらった。大変良い内容だったと思う。

永野委員　　とても良い卒業式をありがとうございました。鷹本委員の歌も素晴らしかった。校長先生の話も素晴らしかった。PTA会長の話も素晴らしく、答辞、送辞も立派で泣かせてもらった。歌をうたいながら泣いている子どもがものすごく今年は多く、去年よりは多かったのではないか。

糸魚川白嶺高校の卒業式も立派で、初めて出席させてもらったが感激した。糸高と違い各クラスの代表が卒業証書をもらう。それぞれの学校のカラーが出ていて素晴らしかった。

楠田委員　　私は能生中の卒業式に参加させていただいた。気になったところは、担任が卒業する生徒の名前を読み上げるが、先生方も顔を見ながら名前を読み上げていたのだと思う。1組、2組はよかった。3組のある女の子は苗字を読み間違えられた。あれは良く確認をし、最後の晴れ舞台なので間違えないでほしい。校長は名前がきちんと

書いてあるので間違えることはなかった。その名前を聞いたとき担任が気付いた。その子が担任の前を通る時、謝ってはいた。最後は間違えの無いようにしっかり名簿を見ても良いのではっきり名前を呼んであげて欲しい。もう一点、卒業生の入場、退場は吹奏楽部の生演奏だった。

佐藤教育長職務代理者

青海中もブラスバンド部だった。答辞、送辞のときはバックグラウンドミュージックが上手く流れ、ソフトな感じだった。

永野委員

糸中の場合は、卒業証書授与のときはクラスごとの合唱曲が流れていた。その子たちの歌った曲がバックに流れ卒業証書が授与される。組が変わると歌が変わり、凝った式をしていた。

楠田委員

告示を読むときに演台へ上がった。そのとき、その前の校長が名前を間違えないように附箋を貼ってあった。ビックリした。

鶴本委員

糸中の卒業式に出させていただいた。本来であれば永野委員が、あそこで娘さんに向かい話をするのが一番美しい姿だと思ったが、私が代理のような形で出させてもらった。187名の卒業生、14名の生徒がインフルエンザ来られなかった。最後の池田校長も校長室でそれだけが心残りだと話していた。明日、入試があるのでそちらを優先すれば今日休む事がベストだろうということで、それだけが悔しい思いだった。後日、校長室に来てもらい直接私は渡したいと池田先生は言っていた。全体的な雰囲気として、新聞の関係で騒いでいたいじめなどどうなっているのかのムードが黄砂みたいに漂っている雰囲気で、一般の人は知らない人は見ていたと思うが、儀式に出てみて全然そんなことではなく、しっかりと先生方のスクラム、1, 2, 3年生の生徒間同士のチームワーク、コンビ、団結力の部分がしっかりと背骨に刻印された形でガッチリした立派な卒業式だったと実感した。増々自信を持ち、1, 2年生は学年が上がるので糸中の生徒会を核にして頑張っていて欲しいというふうに思った。大変良い卒業式だったと思っている。ああいう姿を通して内実とマスコミの力によりどういう印象を与えるか、見てもらい今まで言ってきた部分を変えてもらい、ああいう人たちからも心を込め発信してもらいたい。そのことが糸魚川を良くしていくのだという部分に切り替わって欲しい。

海洋高等学校は、生徒80名3学科そろっての卒業式は最後だと話していた。県内はもとより、日本中に自分たちの実践が色々な評価を受けたことを自信にし、これからの海で生きていく部分に自信を持ち成長して欲しいということが漂っていた素晴らしい卒業式だった。卒業生80名、やり遂げた感が高校生の中にも感じることができ、高等学校まで見ていく部分は大事な役目だと実感した。一貫教育の充実を目指し、また汗をかいていきたいと思っている。

田原教育長

私は糸魚川東中学校の卒業式に行かせてもらった。1時間半、温

かい雰囲気の中での卒業式だった。昨年、入学式に出席ししっかりしている学校だと思っていた。今回卒業式は、感動の卒業式だった。生徒会長の答辞、送辞ではなく巣立ちの言葉で話をしていて。送る方は贈る言葉で送辞ではなかった気がする。生徒会長の巣立ちの言葉の挨拶のとき自分でも感動し、自分で作った言葉を読むだけだが、感極まったところが何度かあった。その言葉を聞き、卒業生も一緒になり涙を流す姿があった。最後に合唱を全員で行うが、合唱をする前にピアノの子と指揮者の子がもう一度挨拶をする。その二人が、素晴らしい挨拶で私は今まで聞いたことがないが、3学年の先生方を大好きだったと感謝の言葉を言い、指揮の男子生徒は保護者に向かい今まで支えてくれてありがとうございましたという言葉で感謝の気持ちを体に出し話していた。立派な姿だった。寒い中だったが、温かく、最初の拍手ひとつを見ても、校歌の元気な声のハーモニーを見ても温かい雰囲気が体育館の中に流れていた感じの卒業式だった

田原教育長

卒業式ありがとうございました。小学校もあるので手分けして参加をお願いします。

11 閉会

田原教育長

第5回の委員会を終了する。ありがとうございました。

午後2時52分 終了